



みなさん、今日は何の日か知っていますか？毎月22日は「ショートケーキの日」なんです。
その理由はカレンダーを見ると…。知らない人は調べてみてくださいね。

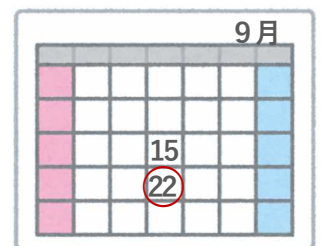
今日は何の日？



さて、今回は事務室 大山が担当です。

みなさんは自分の趣味はこれ！と言えるものがありますか？

社会人になると、学生の時と比べて自由に使えるお金が増えますが、その反面自由な時間は減ってしまうことが多いです。24時間のうち仕事を8時間、睡眠を8時間とすると、残りの自由な時間は8時間しかありません。この8時間をどのように過ごしますか？スマホをいじっていたら一日が終わってしまった…。では少し寂しい気がします。



社会に出て自由度が増すことは楽しい面もありますが、自分の心や体のケアも自分でしなければいけません。高校の3年間よりも、これから社会に出て働く期間はずっと長いです。自分自身のケアのためにも、なにかひとつリフレッシュできる趣味を持ってみてください。

今はまだ趣味がない人も就職・進学をきっかけに好きなことが見つかるかもしれません。就職試験が終わって安心している生徒は就職後をどう過ごすのかも考えてみてくださいね。

蛇足ですが、私の趣味はお菓子づくりです。お菓子をつくらっている時間は何も考えず目の前のことに集中できるので気分転換におすすめですよ。





今日は何の日 part 2 ? (9月24日編)

「えー、昨日は秋分の日だし？」という声が聞こえてきそうな質問です。この質問に答えることができるのは、地球環境問題への意識が高い、C3の生徒です。是非、聞いてみてください！即答すると思いますよ。でも、話が進まないの、答えを言います。

「清掃の日」です。

- ということで、C3の生徒は、この日の認知度を高めるために、湊山公園にゴミ拾いに行きました。湊山公園は、昔から、3年生の遠足で、大変にお世話になっています。写真は、ゴミ拾いを終わった直後の様子です。1時間で、米子市のゴミ袋で10袋分のゴミを集めました。すげー！



- 「なーんだ、高校生になってゴミ拾いか」と思うかもしれませんが、実は、ゴミ拾いは集めることより、分別することの方が大変。可燃ごみと不燃ごみ、「これくらい簡単」と思うかもしれませんが、では、①中身の入ったペットボトル ②ペットボトルのキャップ はどっちかわかりますか？

①はペットボトル、②は可燃ごみです。 ただし、地域によって分類は異なるので、要注意！！

- 特に、①は大変でした。「キャップが取れない」「中身が何か分からないし、臭い」。また、「水ぎわのゴミは、多すぎてきりが無い」「ふとんたたきなど、なぜここにというゴミが多い」が感想でした。

- みなさんも、一度、自宅のゴミの分別をしてみては！

ゴミ出しの大変さが少しはわかるかな？ これが地球環境改善の第一歩！！



先週の日曜日に啓成小学校の運動会が本校のグラウンドで開催されました。とても元気な声が啓成小、米工周辺に響いていました。



子どもは地域の活力だ！

およそ60万人と言われていた鳥取県の人口はおよそ55万人に減少しています。人口の減少に伴い、県内では小学校と中学校を一緒にした義務教育学校が数校設置されました。西部地区でも周辺部から中心部への人口移動などにより人口が減少した地区では、いよいよ義務教育学校の設置が現実味を帯びてきました。

学校がなくなるとその地域から子どもたちの姿がなくなります。そういう地域からは「さみしくなったなあ」「地域の元気がなくなったなあ」という声が聞こえてきます。私の実家は小学校に最も近い地区にあったのですが、統廃合により新しい小学校から一番遠い地区になりました。また、隣の地区は別の新しい小学校の校区になったため、地区の子どもたちの声しか聞こえなくなり、本当に静かになりました。

子どもたちの声は未来を感じさせ地域に元気を与えてくれます。それは小学生だけではなく。高校や大学でも、そこに通う若者の声や存在そのものが周囲の人たちだけではなく、地域全体に活力を与えてくれます。

今週末は文化祭・体育祭が開かれます。新型コロナウイルス感染症感染防止のために昨年に引き続き校外からの参加はご遠慮いただくことになりましたが、生徒のみなさんの元気な様子は必ず地域の方々へ伝わると思います。



学校祭の実施のあり方については、生徒会が中心となって新型コロナウイルスの感染状況を見ながらギリギリまで検討してくれました。できないことに不満を言っていては先に進めません。できることを最大限に活かすアイデアを考えて楽しんでください。コロナに負けるな！

子どもたちにエールを送る歌はたくさんありますが、こんな曲もあります。子どもたちが明日の社会をよりよきものにしてくれるよう、大人たちは願っています。



「がんばれ がんばれ 今の子供達 明日 天気にしておくれ」
(さだまさし「むかし子供達は」より)

校長 松川 明義



みなさんはこの1年半、新型コロナウイルス感染症拡大により休校、分散登校、大会中止、部活動停止等、初めての経験をしてきたと思います。今は少し感染状況が落ち着いてはいますが、明日はどうなっているのかわかりません。このような今後の見通しがつかない状態のことを VUCA と呼んでいます。

～VUCA 時代とは～

Volatility 【変動制】これからどのような変化が起こっていくのか予測不能な変動が激しい状態

Uncertainty 【不確実性】不確実な事柄が多くこの先私たちを取り巻く環境がどう変化していくのかわからない状態

Complexity 【複雑性】さまざまな要素・要因が複雑に絡み合っていて単純な解決策を導き出すことが難しい状態

Ambiguity 【曖昧性】どうしたら問題を解決できるのか、本当にこの方法で解決できるのか、絶対的な解決方法が見つからない状態

これらの頭文字をとったものです。今まさに不確実で変化が激しく、正解の存在しない時代へと突入しました。

～仕事がなくなる？～

コロナ禍によって働き方や仕事内容が大きく変わってきましたが、さらに AI（人工知能）を搭載したロボットによって人間の仕事を奪っていくと予想されています。オックスフォード大学の調査によると10～20年後には日本の労働人口の半数が就いている職業が AI やロボットに代替されると推計されています。その中には米工生の多くが就職する工場勤務者も含まれています。

～これからの時代に求められる人材～

では、この時代に生き残るためにはどのような力が必要なのでしょうか。今までは言われたことを忠実に行動する人が良いとされてきましたが、これからは通用しません。東京オリンピックでは開催前は半数以上の人が開催を反対していましたが、閉幕後は半数以上の人が開催して良かったと答えています。このように絶対解がない中で物事の決断をしていかなければなりません。VUCA 時代に求められているものとは下記の4つの要素を持った人です。

今回の学校祭を例にとってみると

- 1 素早い意志決定と迅速な対応** ⇒ 準備期間が短い中で意見集約から行動まで素早くできましたか？
- 2 状況の変化に対応する臨機応変さ** ⇒ 急な変更があった場合にも柔軟に対応できますか？
- 3 多様性を受け入れられるコミュニケーション力** ⇒ 少数派の意見も取り入れましたか？
- 4 最もよい答えを導き出す問題解決力** ⇒ この状況下において最適解、納得解が得られましたか？

このような力を付けるため学校教育も変わっていきます。

～学び方が変わる～

今後の社会に対応するため来年度入学生からは、「公共」という科目が導入され、さまざまなテーマにおいて議論をしていきます。学習の定着度を見ると、聞いたり見たりしたときは20%に対し、話し合ったとき40%、体験したとき80%、教えたとき90%となっています。つまり学習の定着度を上げるためにはクラスメイトと一緒に話し合い、意見交換をしながら自分の力に変えていかなければなりません。決して一人では習得できないのです。さらに議論を活性化するためには『心の安全』が担保されていなければなりません。心の安全を脅かす要素は『無知・無能・ネガティブ・邪魔していると思われる不安』です。あなたのクラスは大丈夫ですか？

これからの時代を生き抜くため、社会で通じる学びが今クラスでできていますか？



10月になりました。4月に始まった新しい学年での生活も6ヶ月が過ぎ、ちょうど年度の折り返し。皆さんはどんな学校生活を送っていますか？しっかりと勉強に取り組めていますか？ここまでの半年間を振り返って、点検してみてはいかがでしょうか。今回は、これからの勉強への取組で、皆さんに望むことを書きます。

勉強しよう！！



授業を大切にしよう

学校は勉強するところです。勉強の成果を認められて、皆さんは卒業の資格を得る訳ですから、学校生活の中心は授業にあります。学校では、1日に50分授業が6限まであり、実に300分（5時間）も勉強するわけです。「授業中はボーとしていても、家で勉強するからいい」という人がいますが、家でこれだけの時間勉強できますか？この貴重な時間を、ボーと過ごしてはもったいない。授業の内容は、その授業時間内にしっかり理解できるように集中して欲しいものです。

ノートの取り方を見直そう

授業を聞いただけで、全部理解して覚えるなんてことは不可能ですから、後で学習し直すために、授業中はノートをとります。授業を大切にする上で、ノートの取り方はとても重要なポイントです。



①ノートをきれいに取り過ぎない

ノートを取ることに夢中で、先生の話が聞けなかったという経験はありませんか？後で学習し直すためのノートですから、整理して見やすく取ることは必要です。ですが、自分で分かれば良いのです。きれいに取ることにいらぬ労力を使うことは、逆効果です。

②板書以外のメモを書く

板書の丸写しになっていませんか？先生が説明した言葉のキーワードや、印象に残った事、疑問に思ったところに「なぜ？」の一言でもかまいません。後で学習するときに、絶対に役に立ちます。

家庭学習の習慣をつけよう

①復習

授業で学んだことを、再度確認する作業です。宿題や実習レポート作成も、授業の再確認になり、復習にあたります。授業で分かったつもりになっていても、人間の記憶力には限界があります。知識を定着させ自分のものにするために、復習はとても有効です。宿題だけではなく、その日の授業を確認する時間を少しでも取って欲しいと思います。このときに、上に書いたノートが役に立つのです。

②予習

明日の授業の範囲について、内容を確認する作業です。教科書を読むだけでも、ずいぶん授業をうけやすくなります。疑問な点があらかじめ分かっていると、その部分の説明に集中できます。また、授業の中で説明される内容で、「これは教科書に載っていない」とわかったら、ノートにメモを取ると良いでしょう。

さあ残り半年、がんばろう！！

教務部 松田智之